

つくってみよう! 継手付きラミネーション装具セミナー

準備品キットについて・製作手順書

この度はお申込みいただきありがとうございます。

今回のセミナーでは、しっかりとオットーボックメソッドを伝えるためにモデル準備から参加していただきます。お忙しい中大変だとは思いますが、予習として取り組んでいただけますと幸いです。難しかったこと、わかりにくかったことなど出てくると思いますので、セミナー当日に共有いただきたいと思います。また、ご不明点・疑問点が出て作業が進まない場合はお気軽にご連絡ください。尚この資料は、製作マニュアル「KAFOの製作」を抜粋して作成しています。説明に使用する写真にKAFOモデルを使用しているものが多くありますが、ご容赦くださいますよう、お願いいたします。

- 下記製品が入っているか必ず確認してください。
- 注文品の納品ではありますが、足継手本体やネクスギアタンゴのモジュールパーツは当日のお渡しとなります。
- 作製したモデルはラミネーション用に乾燥させてください。
- 準備品は壊れないように梱包の上、前もってオットーボックオフィスへお送りください。ご持参頂く場合はご連絡ください。

同梱品

写真	品番	品名	数量	チェック	備考
1	743Y48	アダプタースリーブ	1		進呈品、納品書に記載なし
2	17AD100A=DY-16	金属ダミー 16mm (17AD100 用)	1		どちらか、選択プランのパーツが1点入っています。
2	17LD1N=16	金属ダミー 16mm (17LA3N)	1		
3	-	プラスチックダミー	1		足継手の同梱パーツです。残りのパーツはセミナー当日にお渡しします。
4	-	ラミネーションバー固定ネジ	2		
5	-	押さえネジ	1		
6	743Y56=4	アライメントインサート	1		
7	17LS3=16-T	ラミネーションバー	1		
8	17SF100=OS-16	あぶみ 17AD100 用	1		どちらか、選択プランのパーツが1点入っています。
8	17LF3N=16	あぶみ 17LA3N 用	1		
-	-	手順書 (本資料)	1		
-	-	参考資料	2 種		

ネクスギアタンゴ カスタムプランをご選択のお客様は、1、7、8 以外を弊社からお貸出するプランです。

セミナー後にご返却いただきます。



1 モデルを作る

- ・シーネで陰性モデルのフタをする前に、アダプタースリーブをいれる作業をしてください。
- ・アダプタースリーブはオットーボックメソッドで使用するアライメント確認を容易にするためのものです。



①外側にアダプタースリーブの通る穴を開けるための印をつける。アダプタースリーブは足関節軸となる。内側は水平面や後面より見て足継手軸になるラインで、印をつける。



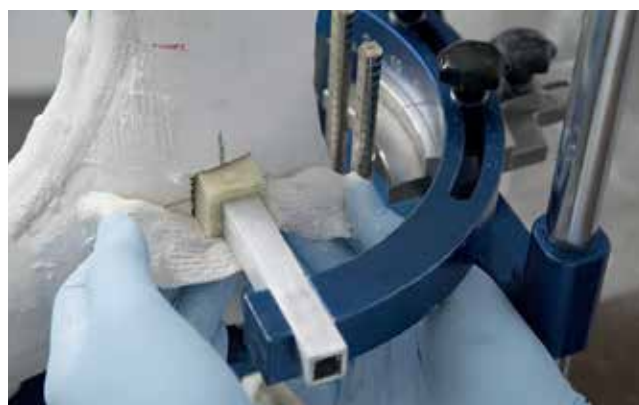
②①で書いた印を切り取る。カッターやバイブレーションカッターを使用。

＊少し大ききでも可。



③アダプタースリーブを陰性モデルの外側から 2cm あたりのところで、カッターで切る。

＊アダプタースリーブを入れた後に、パイプが入るか確認してください。必要に応じ、前面を閉じる前にパイプを入れてください。



④アダプタースリーブの周りに湿らせた石膏包帯を巻き、石膏泥がもれないようにする。

＊このときに、足継手軸が決まります。硬化前にずれていないか等確認してください。



⑤陰性モデル前面をシーネでフタをする。足部は先にトリムラインを出し、壁を作る方法でもよい。

(参考：製作マニュアル2、p7)

＊アダプタースリーブを入れた後に、パイプが入るか確認してください。足関節が細い場合には細いもので対応する必要があります。



⑥石膏泥を流し混む。パイプを忘れずに入れるようにする。硬化したら陰性モデルをはがす。

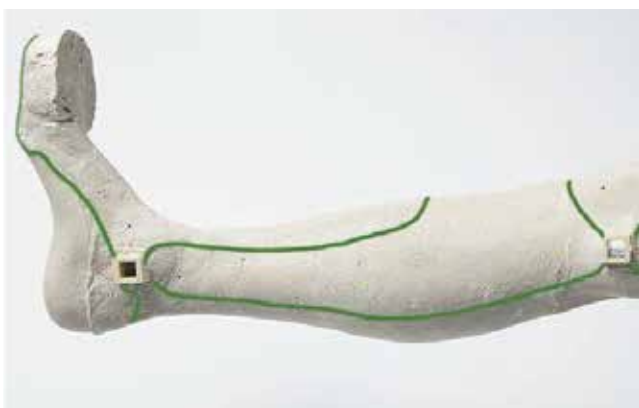
石膏上縁からパイプは 12 cm 程度までとしてください。それより長いと2穴パイプに入りきらず、パイプの根本が余り作業がしづらい可能性があります。



⑦アダプタースリーブの長さを検討。ラミネーション時はアダプタースリーブに足継手をセットして行う。このときに、足継手がモデルにあたらないうちでアダプタースリーブを切る。
*足継手がモデルにあたる場合、アダプタースリーブを短く切りすぎないようにご注意ください。



⑧もしスリーブがモデルより出ている場合は、スリーブとモデルの間を埋めてなだらかにする。



⑨トリミングラインを決める。
*前面支持・後面支持どちらでも可。



⑩適宜モデル修正をして表面をきれいにする。内張を貼ることを考慮した滑らかさでよい。
*ドイツではモデル上でフレアをつけているようです。(上図参照)

2 内張を作る

・ペディリンや PE ライトのような素材4mm 厚をご用意ください。



①ペディリンや PE ライトをモールドし内張を作る。

ラミネーション後は圧縮されますし、取り外しの際にモデルの破損も考えられます。内張材をペディリンにする場合は、仕上げ用にもう1枚、作成しておいてください。



②トリミングラインに沿って内張をカットし、ボンドで固定する。内張材は切りっぱなしで OK。

トリミングラインに合わせて積層材も切るので、ラインに合わせて切ってください。

3 アライメントインサートを取り付ける

・設置したアダプタースリーブにアライメントインサートを入れ、アライメントを確認します。支柱やあぶみを曲げている工程中でも、いつでも確認しやすくなります。



①金属ダミーにラミネーションバーを皿頭ネジでとりつける。



②あぶみにプラスチックダミーをとりつける。

ネクスギアタンゴ：プッシュをつけたまま

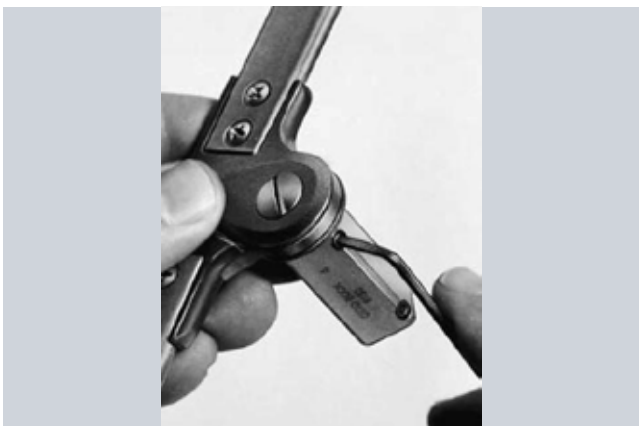
ユニラテラルアングルジョイント：プッシュははずす*紛失注意



③アライメントインサートに①金属ダミー&ラミネーションバー②あぶみ&プラスチックダミーの順で重ね、押さえネジで固定。一度アダプタースリーブにつけ、支柱とあぶみの方向を確認する。



④プラスチックダミーをかぶせることで、支柱とあぶみの角度はニュートラルになるように設計されている。



⑤③で確認した際に支柱の角度を調整する際は、イモネジを緩めると角度調整ができるようになる。

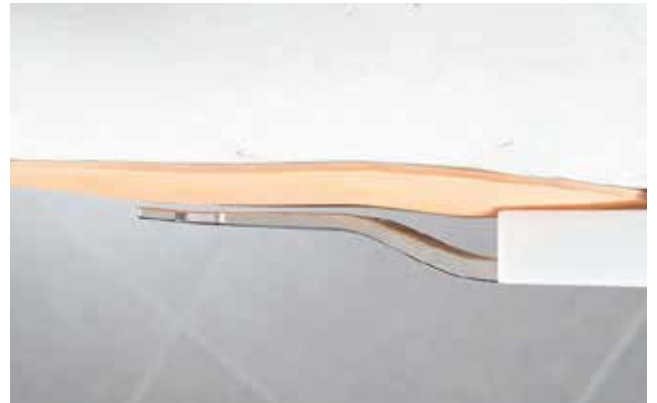
*イモネジの紛失に注意してください。

4 ラミネーションバー・あぶみの加工

・ラミネーションバーはチタン製です。なかなか曲げられないときは、当日にオットーボックのベンディングツールを使用して曲げて頂いても構いませんが、是非まず挑戦してみてください。また、もし破断してしまった場合はご連絡ください。



①ラミネーションバーの継手との接合部は曲げてしまうと入らなくなるので、曲げないように注意する。



②積層材の厚み分、おおよそ 2mm 浮かせたラインで加工する。



③あぶみは足底部につながるようなカーブで曲げたら、足底にかかる部分を切って、角を丸めておく。曲げ跡は研磨してないようにしておく。

*なお、外装となる最終層はこちらではカーボンを想定してご用意しております。そのほか使用したいものがございましたらお持ちください。薄い色はカーボンが透けることが考えられますのでご注意ください。

その他、ご質問ありましたらお気軽におたずねください。

当日お会いするのを楽しみにしております。会場まで気を付けてお越しください。

会場：オットーボック・ジャパン株式会社 (9:15 集合)

東京都港区芝大門 1-9-9 野村不動産芝大門ビル 4F

*当日はビル北側の「土日専用出入口」にお越しください。

お問合せ先：御社営業担当